

—“あるさとちば”のための政策推進を◆



発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

東京湾の安全・安心に万全を!

○袖ヶ浦市特集○
12月県議会一般質問



壇上から一般質問する江野沢吉克県議

今年4月の改選後、6月に続いて12月県議会でも一般質問に登壇した江野沢吉克（えのさわよしかつ）県議は、さきの東日本大震災の教訓から、東京湾内で大規模地震が発生した際の沿岸地域での津波対策などをただしました。これに対し、県は、将来想定される津波を再現する津波シミュレーションを実施し、津波の浸水予測図を作成することを明らかにしました。また、森田知事は、東京湾の水質保全に関して、年度内に第7次総量削減計画を策定する考えを表明しました。その他の質疑と合わせ、江野沢県議の議会活動を特集しました。

シミュレーション実施で
津波の浸水予測図を作成

事前に予測し、県民の避難行動を支援するなど、県民に的確な情報を提供する必要があります。今回の津波を教訓に、津波シンポジウムを開催して、津波浸水予測図を作成するなどどのようなものになるのか。

防災危機管理監 県では

今回の津波や将来想定される津波を再現する津波シナリオーションを実施し、津波の浸水予測図作成することとしています。

津波浸水予測図は、沿岸市町村が作成する津波ハザードマップや津波避難計画の基礎資料となるため、「県

江津潟議員 東日本大震災では、観測史上最大の津波が東日本全域に未曾有の被害を発生させました。本県は、三陸ほどではありませんが、大きな津波被害を受けた地域であり繰り返してきた地域であります。将来においても津波災害を念頭に置いた防災対策、県土づくりをしていく必要があると思います。

要望 市町村と連携し、がら、安全な避難路を確保できる、早急なシミュレーションの実施を要望する。

難計画を策定する中で、協議を進めたいと考えています。

に策定

まで、それぞれ削減する
とを目標として、年度内
策定を目指しています。

に対策を進めるこことにより、平成26年度までにCODを1日当たり33トン、窒素を3トントルを1・9ト

東京湾の総量削減、年度内に策定

県土整備部長 東京湾の津波対策について、現在東京都・神奈川県と連携し、津波想定高やこれによる防護施設のあり方について、平成23年度末に途に検討を進めているところです。今後、その結果に基づいて、東京湾沿岸に岸保全基本計画の見直しが必要な対策を実施していります。

また、公共埠頭などで多くの人の避難施設の設置については、今後、地元市が選

は、どのように
ものか。

森田知事 東京湾の汚濁負荷量の削減を図るために、工場排水の規制強化、合わせて、汚濁負荷割合の大きい生活排水を効率的に処理することが必要です。このため、下水道整備一層の推進を図るとともに、

安全・安心の郷土づくりを!

●県政や上総、袖ヶ浦市のご相談、ご要望はお気軽にどうぞ…

えのさわ吉克 県議事務所 TEL.0438-75-8881
FAX.0438-75-8882 袖ヶ浦市横田413-9

●県政や上総、袖ヶ浦市のご相談、ご要望はお気軽にどうぞ…

えのさわ吉克 県議 〒299-0236
事務所 TEL.0438-75-8881
FAX.0438-75-8882

槽の整備を促進するなど
生活排水対策を計画的に進
めてまいります。

森田知事 東京湾の汚水
負荷量の削減を図るために、工場排水の規制強化、
は、汚濁負荷割合の計算、生活排水を効率的に処理する
きい生活排水を効率的に処理することが必要です。
このため、下水道整備、一層の推進を図るとともに、

HPもご覧下さい… 検索 ちば自民党 → 議員リスト → 市議会議員 → 神ヶ浦市

「南総レールウェイ連結構想」を提唱

久留里線といすみ鉄道を結び

は観光資源も多く、もし、これらの地域が1本の線路でつながれば、さらなる観光需要の創出とともに、地域経済の活性化が期待されるところです。私は、内房の木更津と外房の大原を1本のレールで結ぶ「南総レールウェイ連結構想」を提唱します。両鉄道の接続について、県どのように考

えているのか。

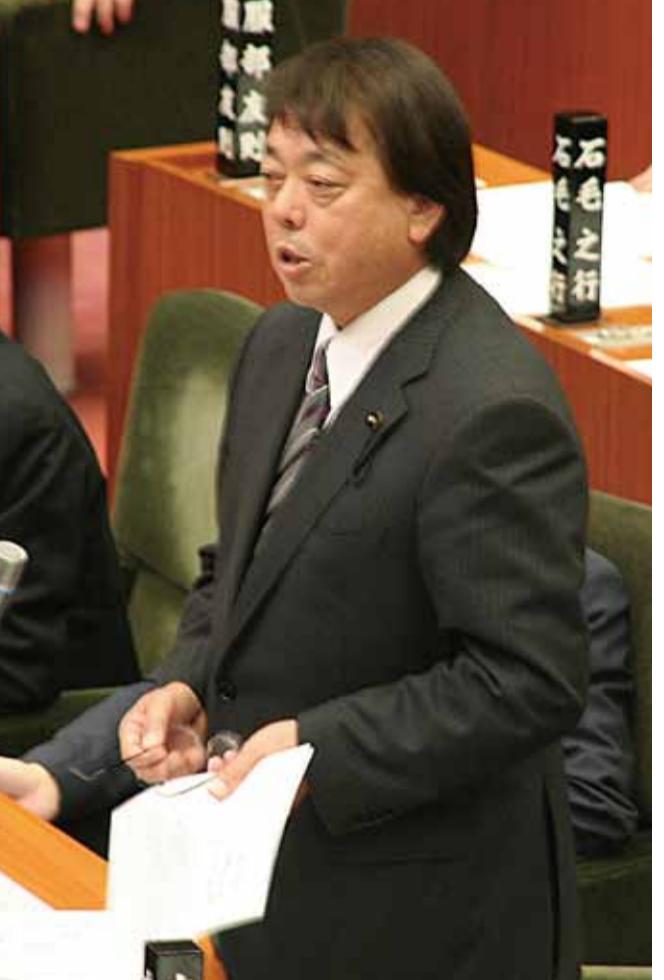
要望

JR久留里線といすみ鉄道の接続です

江野沢議員 JR久留里線といすみ鉄道は、もともと国鉄木原線として大正年間に、木更津から久留里を経由して大原を結ぶ「房総横断鉄道」として計画され定以上にかさむことなどが影響して、構想半ばで断念したものでした。

しかしながら、この地域は観光資源も多く、もし、これらの地域が1本の線路

でつながれば、さらなる観光需要の創出とともに、地域経済の活性化が期待されるところです。私は、内房の木更津と外房の大原を1本のレールで結ぶ「南総レールウェイ連結構想」を提唱します。両鉄道の接続について、県どのように考



自席からメモを手に再質問する江野沢県議

乾燥調製施設の整備求め、積作振興訴え

江野沢議員 国は、環太平洋経済連携協定(TPP)交渉への参加に向け、関係国との協議に入ることを表明したところです。県

が国の試算をもとに、本県

農業への影響を試算したと

ころ、米では約9割、畜産

では約6割が減少する可能

性があり、本県農業が崩壊

することが危惧されています。

基盤整備が終了し、意欲

ある担い手が農地を集積

し、地域農業をまとめてい

きなくとも、経営の核とな

る米の乾燥調製施設が導入

できなくては、国際競争に

勝ち抜いて稲作の振興はで

きません。県として、稲作

の振興にどのように取り組

んでいるのか。また、米の

乾燥調製施設の整備状況は

どうか。

農林水産部長 米の消費

が減少し、産地間競争が激

しくなる中、県では早場米

産地の競争力強化と低コスト化の推進が必要と認識し

ており、生産基盤の整備と

農地の利用集積等による規

模拡大、地域の担い手育成

などに取り組んでいます。

特に、意欲ある担い手が、

将来にわたって安心して稲

作経営に取り組むためには、

土地基盤の整備と合わせ、

などと

ます。

またが、見直しが遅れて

いるところです。

そのため、改めて提出され

ることになりました。

江野沢議員によると、現行の廃車還付制度では、車

検の有効期間内に一時抹消

登録をしても、すでに納付

済みの自動車重量税は還付

されず、さらには、その自

動車が再度登録された場合、

新たに自動車重量税を納付

しなければならないという、

いわゆる税の二重払いが発

生することになるなどと

問題点を指摘しています。

要望

未登記による税の過誤納の発生など、早急な対応が必要な場合もあると思われますので、解消を強く要望します。

要望